

報道関係者各位

平成 28 年 11 月 4 日

## < 創業 120 周年 未来に向けた新技術開発 >

アスロック発売 46 年振りの全面リニューアル！ **ネオ**  
高耐久性 押出成形セメント板 『アスロック **Neo**』

高層建築市場への本格参入！ **ハイスペック**  
高層専用工法 『アスロック **Neo-HS**』

< 防水構造に関する特許出願済み 留付構造に関する特許取得済み（特許第 4481886 号）

株式会社ノザワ（本社：神戸市中央区浪花町 15 番地）は、主力商品である押出成形セメント板アスロックの耐久性を飛躍的に向上した新素材「アスロック **Neo**（ネオ）」の開発に成功しました。

平成 29 年 4 月より、一般建築向けの現行アスロックから新素材「アスロック **Neo**」への切り替えをおこなうと共に、これまで特注対応していた高層建築に対して、高層専用工法「アスロック **Neo-HS**（ハイスペック）」を市場に投入します。この「アスロック **Neo-HS**」の発売により、中低層から高層・超高層まで当社オリジナル工法のラインナップが揃います。当社では高層建築市場への本格参入により、押出成形セメント板の市場規模を拡大し、出荷量 30 万 m<sup>2</sup>増を目指します。

### - Menu -

#### 1. 高耐久性押出成形セメント板「アスロック **Neo**」

- (1) 「強い壁」から「強靱な壁」への変革
- (2) 「高耐久性」がもたらす効果

#### 2. 高層専用工法 『アスロック **Neo-HS**』

- (1) 「高層建築市場」への本格参入による押出成形セメント板の市場規模拡大
- (2) 「大地震にも確かな耐震性・耐久性」
- (3) 「頻発する暴風雨にも 1 ランク上の安心」
- (4) 「高層建築市場の合理化」を推進する

#### 3. 「商品化計画」

# 1. 高耐久性押出成形セメント板「アスロック Neo」

## (1) 「強い壁」から「強靱な壁」への変革

アスロックは1970年に世界に先駆けて押出成形セメント板の開発に成功し、発売から46年間、優れた強度と性能を評価頂き、建物の外装材・間仕切材等、国内外で幅広くご利用頂いています。

今日に至るまで、阪神淡路大震災や東日本大震災などの大きな震災がありましたが、自社の調査では外的要因以外の損傷はありませんでした。

このたび全面リニューアルする「アスロック Neo」は独自の製造技術により、更に強靱な材質とする事に成功しました。この材質改良により、外壁としての耐久性や強度が向上し、建物の資産価値向上はもちろんのこと、環境条件が過酷な高層建築の外装にも安心してご利用頂くことが可能となります。

## (2) 「高耐久性」がもたらす効果

現行のアスロックよりも素材強度を向上することができた「アスロック Neo」は、近年、頻発する地震や暴風にも、より、安定した性能を発揮することが可能となります。

また、一般的なコンクリート製品とは違い、もともと吸水率が低いアスロックは素材のまま外部にご利用頂くことができますが、「アスロック Neo」は、より表面吸水量を抑制できるため、年々増加する豪雨にも長期にわたり安心してご利用いただくことが可能です。

## 2. 高層専用工法 『アスロック Neo-HS』

### (1) 「高層建築市場」への本格参入による押出成形セメント板の市場規模拡大

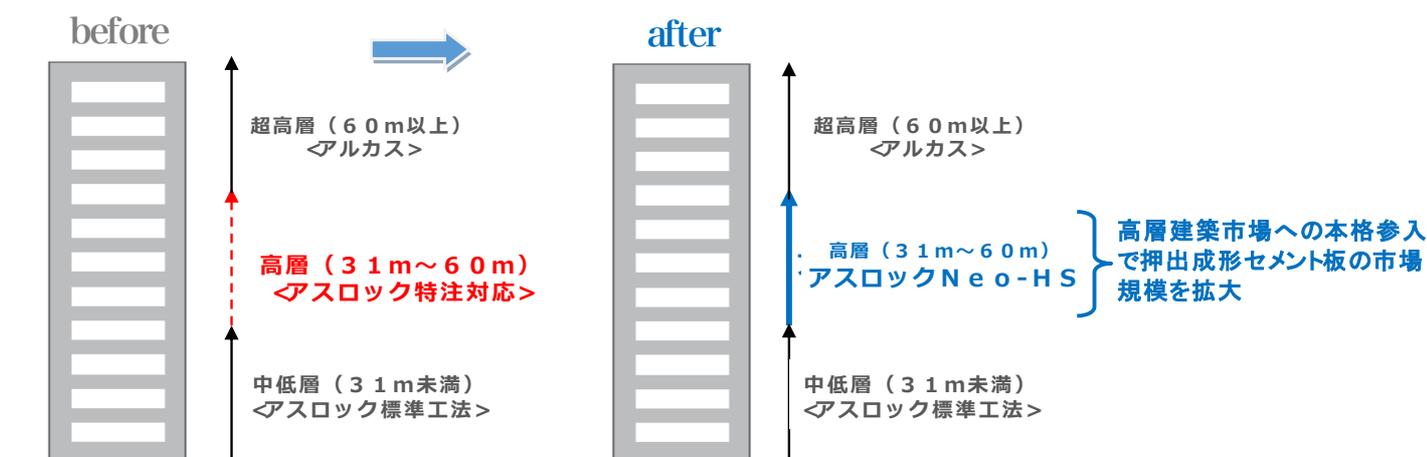
現在、中低層建築（31m未満）についてはアスロック標準工法、超高層建築（60m以上）についてはアルカス（2010年発売）をラインナップしていますが、高層建築（31m～60m）については標準仕様がなく、都度、特注対応しています。

このような背景から、高層建築の過酷な条件にも十分な耐久性を備えた「アスロック Neo」と、安全性を極めた高層専用工法とを組み合わせた「アスロック Neo-HS」を投入し、本格的に高層市場に参入します。

「アスロック Neo-HS」は高層外壁としては軽量であり、同市場で多くのシェアを占めるPCパネルと比べて構造体や施工用重機費用を軽減することができます。

この工法の開発により、これまでなかった高層建築向けのラインナップが加わり、中低層から超高層まで安心してアスロック Neo とアルカスをご利用頂くことが可能となります。

当社では、「アスロック Neo-HS」の高い性能とコストパフォーマンスを武器に、高層建築市場における潜在需要を掘り起こし、押出成形セメント板の市場規模を拡大します。



### (2) 「大地震にも確かな耐震性・耐久性」

東日本大震災以降、国内の地震は発生規模・頻度ともに増加傾向にあり、建物に対する安全性への意識が高まっています。高層専用工法「アスロック Neo-HS」はセンターロッキング工法の採用により、建物の揺れに伴うパネルの動きが半減し、より、安全性を高めることが可能となりました。

### (3) 「頻発する暴風雨にも1ランク上の安心」

アスロックは外部側のシーリングが破損しても屋内側へ雨水が侵入しないよう、二次的な防水措置（二次防水工法）を標準仕様にしてあります。高層専用工法「アスロック *Neo-HS*」は当社独自の技術で開発したオリジナルの二次防水工法の採用により、水密性能3,500Pa（1㎡当り約350kg相当・瞬間最大風速76m/s相当の風雨）を実現しました。

この性能値は観測史上最大となる昭和40年の台風23号（風速69.8m/s）に匹敵する暴風雨でも漏水しないこととなります。これにより、汎用的な二次防水工法の水密性能1,500Pa（1㎡当り約150kg・瞬間最大風速49m/s相当の風雨）から飛躍的に防水性能を向上することが出来るようになります。

建物高さ	工法	水密性能	台風の関係		備考
			階級	代表的な台風	
中低層建築	汎用二次防水工法	1,500Pa	強い台風	風速40.8m/s相当の台風	(株)ノザワ オリジナル工法
	LS工法（特許出願済・意匠登録済）	2,750Pa	非常に強い台風	室戸台風（風速60m/s超） 洞爺丸台風（風速63.3m/s）	
	ニューセフティ工法（特許取得済）	3,000Pa			
高層建築	アスロックNeo-HS（特許出願済）	3,500Pa	猛烈な台風	昭和40年第23号台風（風速69.8m/s） 第2室戸台風（風速66.7m/s超）	
超高層建築	アルカス（特許取得済）	等圧工法 都度算出			

### (4) 「高層建築市場」の合理化を推進する

高層建物で使用される外装材にPCパネルがありますが、「アスロック *Neo*」と比較すると自重が重いため使用する鉄骨量が多くなり、その分の費用が多く必要になります。

また、PCパネルはその自重から、パネルの建て込みにタワークレーン等の施工用重機が必要になりますが、自重が軽いアスロック基材はウィンチ等の軽微な機械で施工ができるため、重機費用を削減できます。



### 3. 「商品化計画」

高耐久性押出成形セメント板「アスロック **Neo**」及び高層専用工法「アスロック **Neo-HS**」は平成29年4月より発売予定です。

この「アスロック **Neo**」の開発により、水の影響を受けやすい河川や護岸などの土木資材や、地下空間の関連部材等、他分野での新用途開発を目指します。

＜会社概要＞株式会社ノザワ（東証2部上場）	
本社	兵庫県神戸市中央区浪花町15番地
資本金	24億4900万円
代表者名	取締役社長 野澤 俊也
事業概要	押出成形セメント板「アスロック」他 不燃建材の製造・加工・販売
◎お問い合わせ先	
株式会社ノザワ 技術本部 開発部 〒104-0041 東京都中央区新富1-18-1（住友不動産京橋ビル） 担当 細田 吉大 TEL03-5540-6511 Email: hosoda.ys@nozawa-kobe.co.jp	